

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2026年第5週（1月26日～2月1日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

インフルエンザの定点当たり報告数は、本市が27.74（前週15.89）、全国は30.03（前週16.65）と、ともに大幅に増加しました。

小児科定点把握感染症の定点当たり報告数は、感染性胃腸炎が11.15（前週10.55）とやや増加しました。

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフル/COVID19	35	インフルエンザ	27.74	15.89	10.51
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.20	1.69	1.20
小児科 (多い順に5位まで)	20	1. 感染性胃腸炎	11.15	10.55	7.25
		2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.15	4.40	3.65
		3. RSウイルス感染症	1.30	1.15	0.35
		4. 水痘	0.25	0.80	0.35
		4. 伝染性紅斑	0.25	0.10	0.20
眼科	10	流行性角結膜炎	0.10	0.20	0

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第4週以前の追加報告分を含みます）

（性別、年齢、症状、感染地域(推定含む)、感染経路(推定含む)等の順に掲載。ただし結核は除く。）

2類感染症 結核 4例（本年累積17例）

今週追加4例内訳(肺結核2例、その他結核1例、潜在性結核感染者1例) うち喀痰塗抹陽性0例

本年累積17例内訳(肺結核7例、その他結核4例、潜在性結核感染者6例) うち喀痰塗抹陽性0例

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1例（本年累積6例）

女、89歳、発熱・肺炎・菌血症、国内、飛沫・飛沫核

5類感染症 梅毒 1例（本年累積9例）

女、37歳（無症候）、なし、国内、性的接触（異性間）

5類感染症 百日咳 1例（本年累積9例）

男、49歳、持続する咳・夜間の咳き込み、国内、家族内

◆ 注目すべき感染症（最新の特集：インフルエンザ）

感染症の流行状況等に応じて、注目すべき感染症を特集しています。下記URLから御覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000326147.html>

◆ 次ページ以降の内容

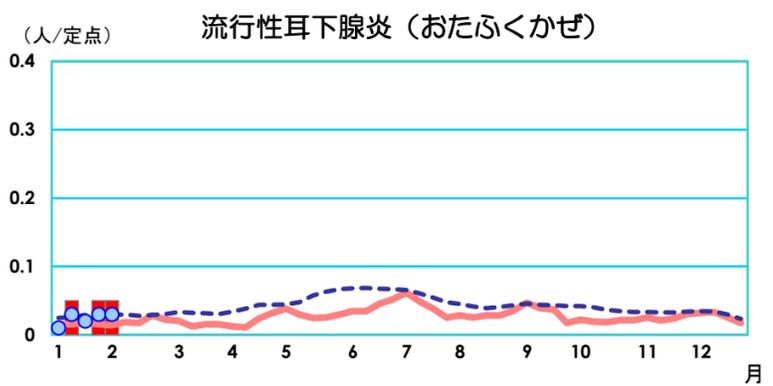
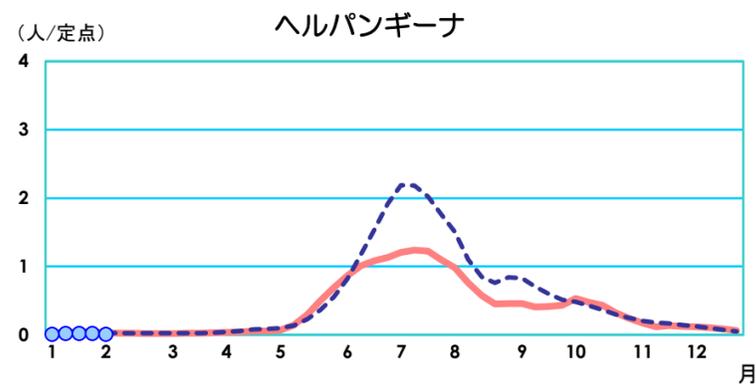
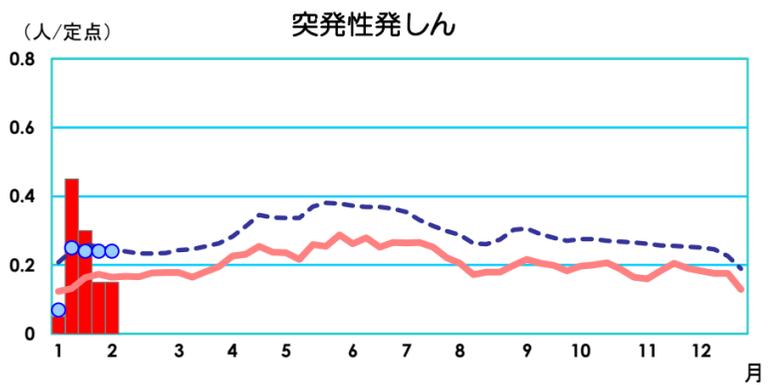
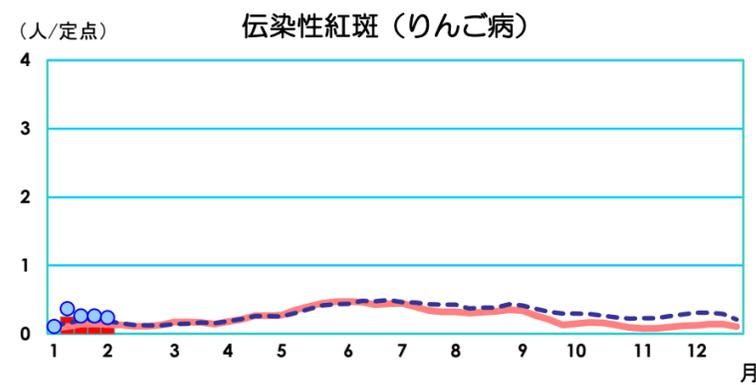
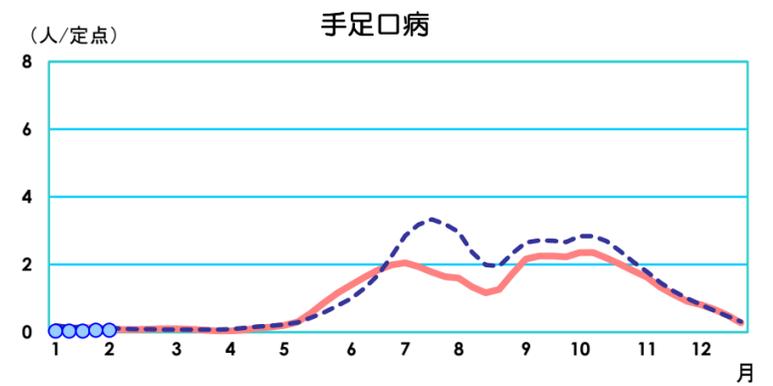
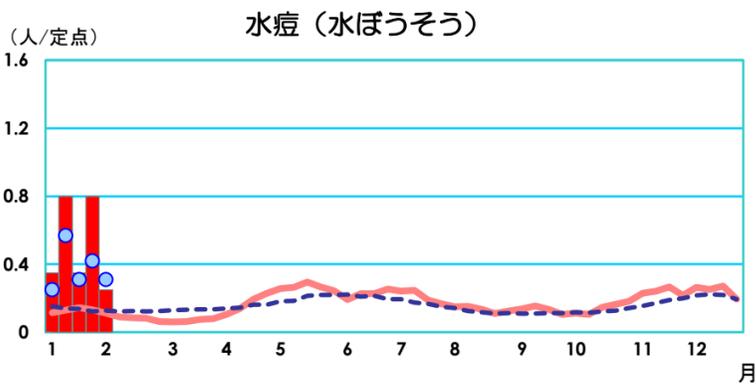
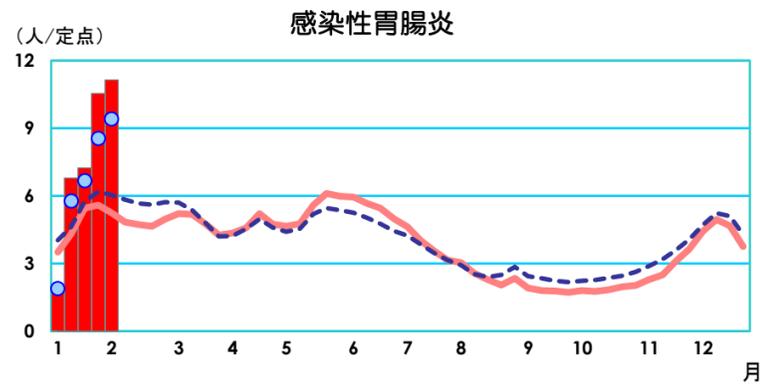
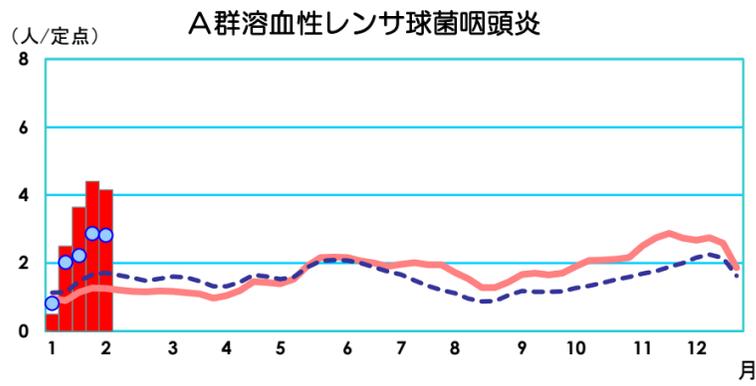
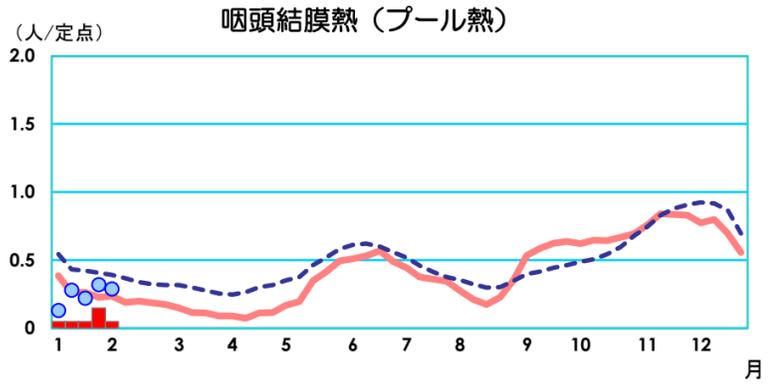
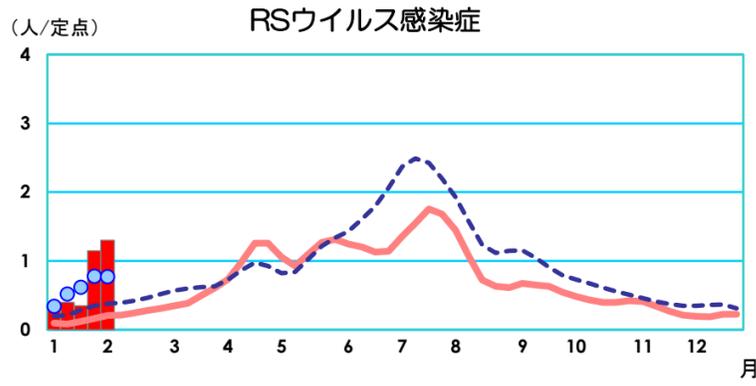
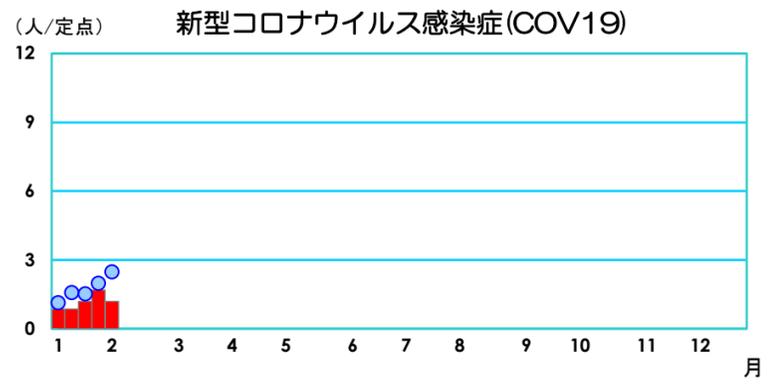
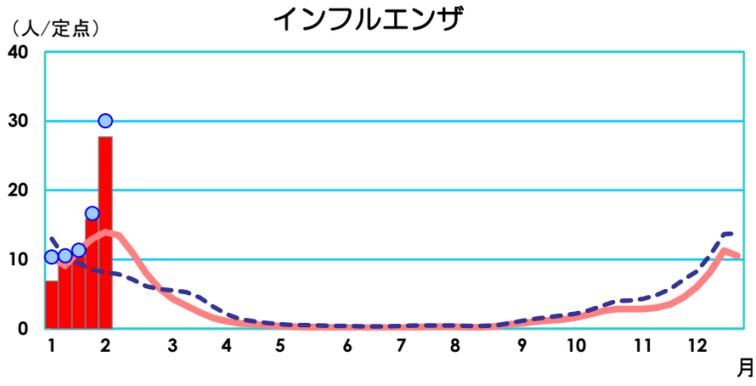
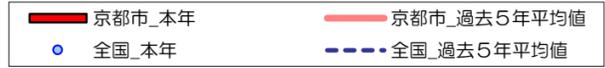
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・急性呼吸器感染症（ARI）の年齢階級別及び行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

京都市のデータは、2026年2月4日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

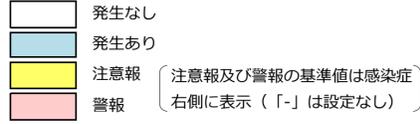
本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は紙面の都合等により、新型コロナウイルス感染症、COVID-19、COVID-19と記載している箇所があります。

インフルエンザ / COV19及び小児感染症の疾病別推移 (2026年)

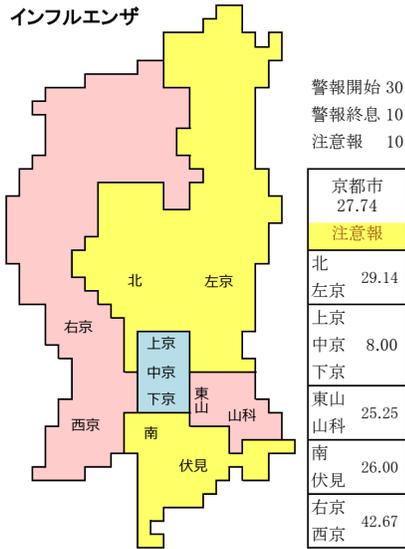


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2026年 第 5 週】

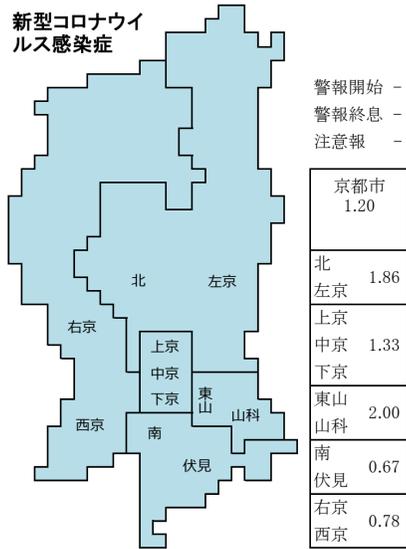


※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。
 ※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。
 ※令和7年15週以降、感染症法の改正に伴う定点医療機関数の変更により、各行政区別表示から、複数区の合算表示に変更となりました。

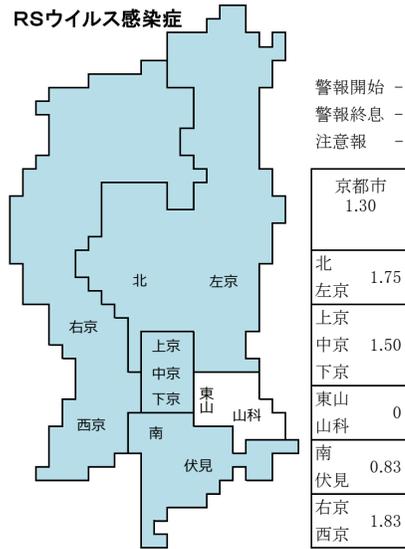
インフルエンザ



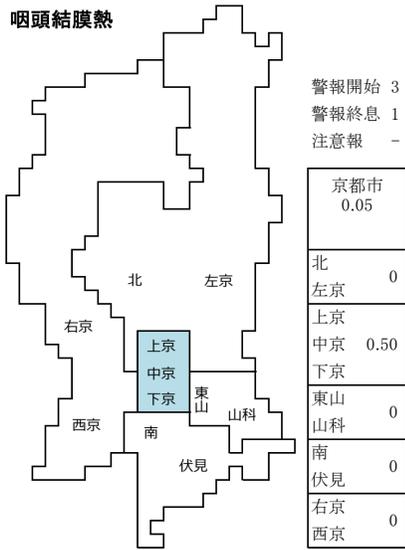
新型コロナウイルス感染症



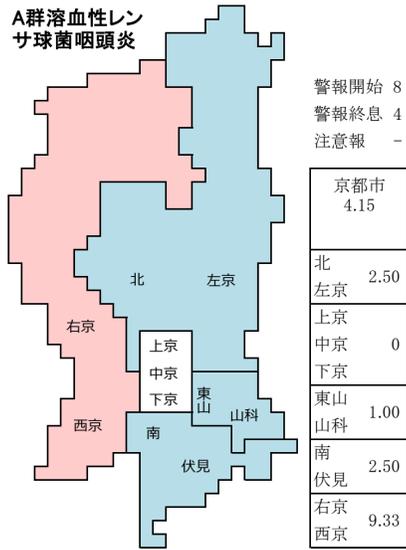
RSウイルス感染症



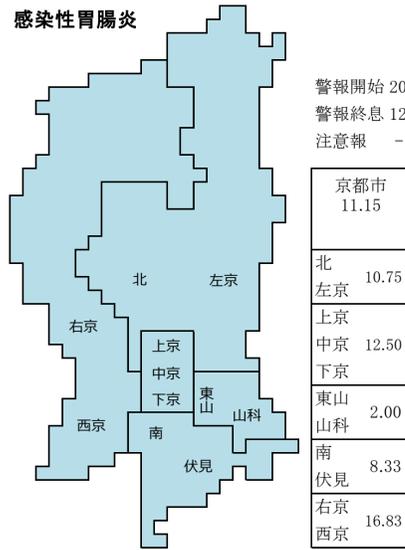
咽頭結膜熱



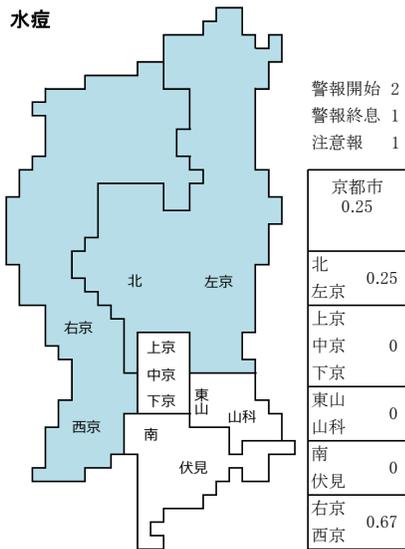
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



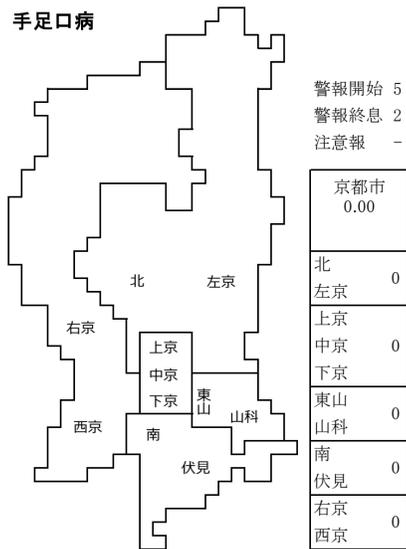
感染性胃腸炎



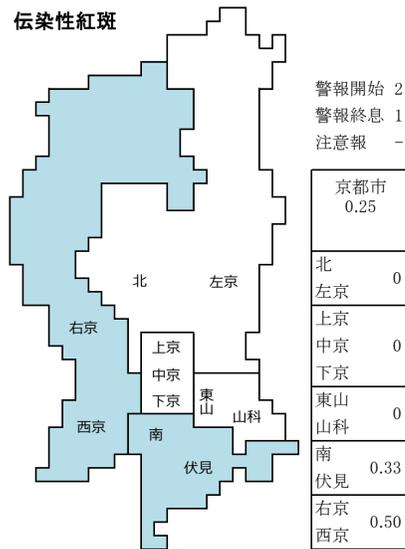
水痘



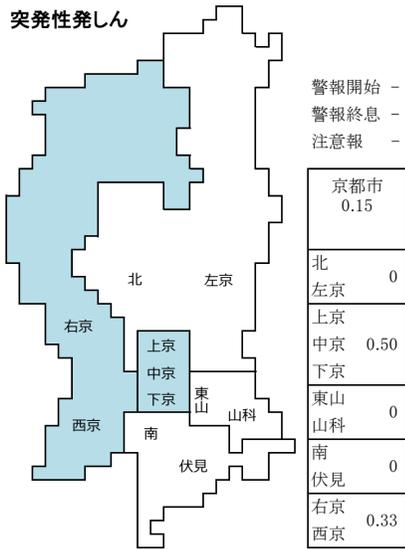
手足口病



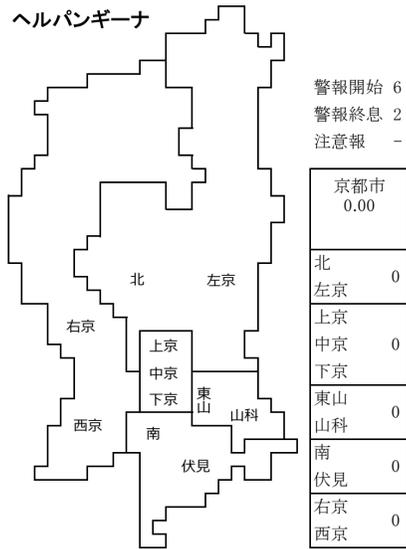
伝染性紅斑



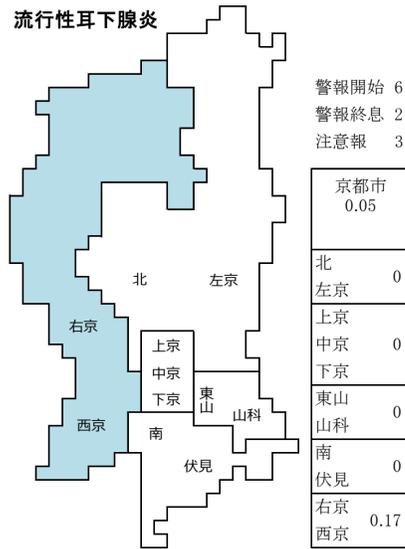
突発性発しん



ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



2026年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2026/1/1～2026/2/1

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 累計	2025年 累計(参考)
急性灰白髄炎（ポリオ）														
結核	17												17	232
ジフテリア														
2類 重症急性呼吸器症候群（SARS）*1														
中東呼吸器症候群（MERS）*2														
鳥インフルエンザ（H5N1）														
鳥インフルエンザ（H7N9）														
コレラ														
細菌性赤痢														1
3類 腸管出血性大腸菌感染症	3												3	25
腸チフス														
バラチフス														
E型肝炎														4
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎														3
エキノコックス症														
黄熱														
オウム病														
オムスク出血熱														
回帰熱														
キャサヌル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症														
エムボックス														1
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3														2
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
チクングニア熱														
つつが虫病														
4類 デング熱														4
東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）														
ニバウイルス感染症														
日本紅斑熱														3
日本脳炎														
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
鼻疽														
ブルセラ症														
ベネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ポツリヌス症														
マラリア	1												1	
野兔病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症	1												1	47
レプトスピラ症														2
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢														6
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）														6
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1												1	13
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)														1
急性脳炎*4														5
クリプトスポリジウム症														
クロイツフェルト・ヤコブ病	1												1	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1												1	19
後天性免疫不全症候群														12
ジアルジア症														
侵襲性インフルエンザ菌感染症														16
侵襲性髄膜炎菌感染症														3
侵襲性肺炎球菌感染症	6												6	56
水痘（入院例に限る。）	1												1	13
先天性風しん症候群														
梅毒	9												9	117
播種性クリプトコックス症														1
破傷風														1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1												1	1
百日咳	9												9	466
風しん														1
麻しん														6
薬剤耐性アシネトバクター感染症														

(*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(*3) 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（行政区別※4）

T3201

2026年 第5週（2026/1/26～2026/2/1）

データ取得日：2026年2月4日

報告数		北・左京	上京・中京・下京	東山・山科	南・伏見	右京・西京	京都市計
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	7	6	4	9	9	35
	（報告医療機関数）	7	6	4	9	9	35
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	204	48	101	234	384	971
	新型コロナウイルス感染症（※2）	13	8	8	6	7	42
	小児科（定点医療機関数）	4	2	2	6	6	20
	（報告医療機関数）	4	2	2	6	6	20
小児科	R Sウイルス感染症	7	3	-	5	11	26
	咽頭結膜熱	-	1	-	-	-	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	-	2	15	56	83
	感染性胃腸炎	43	25	4	50	101	223
	水痘	1	-	-	-	4	5
	手足口病	-	-	-	-	-	-
	伝染性紅斑	-	-	-	2	3	5
	突発性発しん	-	1	-	-	2	3
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	1	1
	眼科（定点医療機関数）	2	3	1	2	2	10
	（報告医療機関数）	2	3	1	2	2	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	1	-	-	-	1
	基幹（定点医療機関数）	...	1	1
	（報告医療機関数）	...	1	1
基幹	細菌性髄膜炎（※3）	...	1	1
	無菌性髄膜炎	...	-	-
	マイコプラズマ肺炎	...	-	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	...	-	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	...	2	2

定点当たり報告数		北・左京	上京・中京・下京	東山・山科	南・伏見	右京・西京	京都市計	
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	29.14	8.00	25.25	26.00	42.67	27.74	
	新型コロナウイルス感染症（※2）	1.86	1.33	2.00	0.67	0.78	1.20	
小児科	R Sウイルス感染症	1.75	1.50	-	0.83	1.83	1.30	
	咽頭結膜熱	-	0.50	-	-	-	0.05	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	-	1.00	2.50	9.33	4.15	
	感染性胃腸炎	10.75	12.50	2.00	8.33	16.83	11.15	
	水痘	0.25	-	-	-	0.67	0.25	
	手足口病	-	-	-	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	-	0.33	0.50	0.25	
	突発性発しん	-	0.50	-	-	0.33	0.15	
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	0.17	0.05	
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
		流行性角結膜炎	-	0.33	-	-	-	0.10
	細菌性髄膜炎（※3）	...	1	1.00	
	無菌性髄膜炎	...	-	-	
基幹	マイコプラズマ肺炎	...	-	-	
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	...	-	-	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	...	2	2.00	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※4 令和7年15週以降、感染症法の改正に伴う定点医療機関数の変更により、各行政区別表示から、複数区の合算表示に変更となりました。

京都市感染症発生動向調査情報（年齢階級別）

T3202

報告数

2026年 第5週（2026/1/26～2026/2/1）

データ取得日：2026年2月4日

インフルエンザ/COVID-19定点 (報告医療機関数35)	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	971	1	5	14	22	43	37	75	69	99	77	57	267	74	37	38	35	12	3	3	3
新型コロナウイルス感染症(※2)	42	-	-	3	-	-	-	1	-	3	1	1	5	-	4	4	4	2	3	4	7
小児科定点 (報告医療機関数20)	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上						
R Sウイルス感染症	26	4	4	7	5	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	-	1	2	3	14	7	9	8	6	5	4	21	1	2						
感染性胃腸炎	223	4	8	24	21	22	8	20	9	10	25	19	29	8	16						
水痘	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-						
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	5	-	-	-	-	-	2	-	1	2	-	-	-	-	-						
突発性発しん	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
眼科定点 (報告医療機関数10)	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
基幹定点 (報告医療機関数1)	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※3)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

定点当たり報告数

インフルエンザ/COVID-19定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	27.74	0.03	0.14	0.40	0.63	1.23	1.06	2.14	1.97	2.83	2.20	1.63	7.63	2.11	1.06	1.09	1.00	0.34	0.09	0.09	0.09
新型コロナウイルス感染症(※2)	1.20	-	-	0.09	-	-	-	0.03	-	0.09	0.03	0.03	0.14	-	0.11	0.11	0.11	0.06	0.09	0.11	0.20
小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上						
R Sウイルス感染症	1.30	0.20	0.20	0.35	0.25	0.15	-	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.15	-	0.05	0.10	0.15	0.70	0.35	0.45	0.40	0.30	0.25	0.20	1.05	0.05	0.10						
感染性胃腸炎	11.15	0.20	0.40	1.20	1.05	1.10	0.40	1.00	0.45	0.50	1.25	0.95	1.45	0.40	0.80						
水痘	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	0.20	-	-						
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	0.25	-	-	-	-	-	0.10	-	0.05	0.10	-	-	-	-	-						
突発性発しん	0.15	-	0.05	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	0.05	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	
基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※3)	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2.00	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（10週推移）

T3203

報告数

2025年 第47週～2026年 第5週

データ取得日：2026年2月4日

	疫学週	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	
		(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)	
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
	（報告医療機関数）	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	1,836	1,844	1,647	1,558	1,379	866	240	350	368	556	971	
	新型コロナウイルス感染症（※2）	40	43	46	32	38	50	30	30	42	59	42	
	小児科（定点医療機関数）	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
	（報告医療機関数）	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
小児科	R Sウイルス感染症	17	13	10	10	16	14	7	8	7	23	26	
	咽頭結膜熱	-	1	1	2	4	7	1	1	1	3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	130	108	113	116	119	97	10	50	73	88	83	
	感染性胃腸炎	99	79	97	128	104	149	39	136	145	211	223	
	水痘	13	11	9	23	9	17	7	16	7	16	5	
	手足口病	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	
	伝染性紅斑	8	4	4	4	3	2	-	5	4	2	5	
	突発性発しん	4	2	4	5	6	5	1	9	6	3	3	
	ヘルパンギーナ	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	流行性耳下腺炎	1	1	2	1	-	1	-	1	-	1	1	
		眼科（定点医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		（報告医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	流行性角結膜炎	1	3	1	2	4	2	-	2	-	2	1	
	基幹（定点医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	（報告医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
基幹	細菌性髄膜炎（※3）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	無菌性髄膜炎	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	1	1	1	2	3	3	-	1	1	1	-	
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	

定点当たり報告数

	疫学週	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	
		(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)	
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	52.46	52.69	47.06	44.51	39.40	24.74	6.86	10.00	10.51	15.89	27.74	
	新型コロナウイルス感染症（※2）	1.14	1.23	1.31	0.91	1.09	1.43	0.86	0.86	1.20	1.69	1.20	
小児科	R Sウイルス感染症	0.85	0.65	0.50	0.50	0.80	0.70	0.35	0.40	0.35	1.15	1.30	
	咽頭結膜熱	-	0.05	0.05	0.10	0.20	0.35	0.05	0.05	0.05	0.15	0.05	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.50	5.40	5.65	5.80	5.95	4.85	0.50	2.50	3.65	4.40	4.15	
	感染性胃腸炎	4.95	3.95	4.85	6.40	5.20	7.45	1.95	6.80	7.25	10.55	11.15	
	水痘	0.65	0.55	0.45	1.15	0.45	0.85	0.35	0.80	0.35	0.80	0.25	
	手足口病	-	0.05	-	0.05	0.10	-	-	-	-	-	-	
	伝染性紅斑	0.40	0.20	0.20	0.20	0.15	0.10	-	0.25	0.20	0.10	0.25	
	突発性発しん	0.20	0.10	0.20	0.25	0.30	0.25	0.05	0.45	0.30	0.15	0.15	
	ヘルパンギーナ	-	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
	流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.10	0.05	-	0.05	-	0.05	-	0.05	0.05	
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-
		流行性角結膜炎	0.10	0.30	0.10	0.20	0.40	0.20	-	0.20	-	0.20	0.10
基幹	細菌性髄膜炎（※3）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
	無菌性髄膜炎	-	1.00	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	1.00	1.00	1.00	2.00	3.00	3.00	-	1.00	1.00	1.00	-	
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（急性呼吸器感染症（ARI）※）

TARI

2026年 第5週（2026/1/26～2026/2/1）

データ取得日：2026年2月4日

年齢階級別

報告数

ARI定点 (報告医療機関数35)	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症	2935	135	895	880	442	127	86	106	80	66	43	35	40

定点当たり報告数

ARI定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症	83.86	3.86	25.57	25.14	12.63	3.63	2.46	3.03	2.29	1.89	1.23	1.00	1.14

行政区別

報告数

	北区 左京区	上京区 中京区 下京区	東山区 山科区	南区 伏見区	右京区 西京区	京都市計
ARI定点（定点医療機関数）	7	6	4	9	9	35
（報告医療機関数）	7	6	4	9	9	35
急性呼吸器感染症	512	152	312	889	1,070	2,935

定点当たり報告数

	北区 左京区	上京区 中京区 下京区	東山区 山科区	南区 伏見区	右京区 西京区	京都市計
急性呼吸器感染症	73.14	25.33	78.00	98.78	118.89	83.86

※急性呼吸器感染症 2025年4月7日から集計を開始

